

2022年3月28日

会員各位

WAC2022・選手権大会ニュース

一般社団法人 東京ガラス外装クリーニング協会
選手権大会実行委員会
委員長 千田 健一郎

時下、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より当協会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先日行われました全国ガラス外装クリーニング協会連合会の理事会において、2022(令和4)年度の第19回日本ガラスクリーニング選手権大会 in 中部(全国ガラスクリーニング選手権大会中部本戦)は、コロナの影響が未だ落ち着いた等の事由により、やむを得ず2023(令和5)年度へ延期するとの結論に至りました。この決定を受けて、2022(令和4)年度の東京予選も中止を余儀なくされること、茲許ご報告させていただきます。

しかしながら、GCA 選手権実大会行委員会としましては、このまま2023(令和5)年度までの長期間延期に伴う様々な影響を考慮して、何か別の形で会員の皆様に楽しんでいただけるような大会開催を模索してはどうかの意見も出ております。

また、私自身は、2020年より「キューティー羽生田」こと、羽生田信之以前委員長の後任として、選手権大会実行委員長を拝命してから、一度も大会が開催されずに選手権大会ファンの皆様には大変ご不便を与えているのではと常々感じております。

そこで、今年度はロープアクセスを取り入れた形での大会を企画しようと考えております。やはりガラス清掃の花形といえ、今も昔も変わらぬロープ作業だと思っております。近年において、ロープによる上下左右の移動はもちろんのこと、ロープ作業中に身動きが取れなくなった作業員の救出までも技術として可能となっております。

このようなことから、今後も作業者の更なる「スキルアップ&安全意識の向上を楽しみながら出来る大会」の実現に向けての諸活動に取り組んで参りたい所存です。

前述の新企画について、これから具体的な準備に取り掛かりますので、秋以降の実施を予定しております。進捗状況については随時、会報等にてお知らせしますので、ご期待ください！